

助産雑誌 Back Number

★バックナンバーのお取り扱いについて

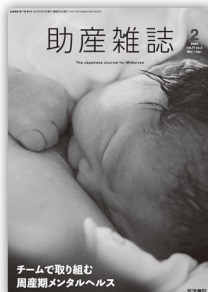
- ① 2021年7月号以降の雑誌は、医学書院受注センター(TEL: 03-3817-5666)にて承ります。
- ② それ以前の号についてのご注文や在庫の照会などは、下記へお願いいたします。
株式会社東亜ブック 〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町5-27-11
TEL: 03-5947-4781 FAX: 03-3923-4539



2023年3号(5-6月号)

特集 妊娠中の体重管理と栄養

2021年に「妊娠中の体重増加量の目安」が改定されました。低出生体重児の割合が高く、「やせ」の女性が多い日本。妊娠・出産をきっかけに、女性が自身の心身の健康に向き合えるような体重管理のあり方を、さまざまな角度から考えます。



2023年2号(3-4月号)

特集 チームで取り組む 周産期メンタルヘルス

信州大学医学部「周産期のこころの医学講座」の全面協力の下、附属病院産科、NICU・GCU、精神科とPSWが毎週行なうカンファレンスを誌上に再現。さらに助産院との勉強会を加え、スタッフのケアも含めた周産期メンタルヘルスの実践を学びます。



2023年1号(1-2月号)

特集 ライフワークとして考える 助産師のキャリア

病院・地域・行政という従来の枠組みにとらわれないキャリアや、自身の「やりたい!」を課題解決に結びつけてきた助産師の体験談を掲載しています。超少子化の今だからこそ、社会のあらゆる場面で助産師が求められていることが分かります。



2022年6号(11-12月号)

特集 ベテラン助産師に聞く 退院までの母乳育児支援のコツ

新人・中堅母乳育児支援でぶつかった悩みについて、助産師歴37年・IBCLC歴21年の先輩助産師が答えます。お母さんとのコミュニケーションや、母乳量を調節するワザについて、考え方から「ちょっとしたコツ」まで、一緒に学んでいきましょう。



2022年5号(9-10月号)

特集 共働き家庭のための 出産準備アップデート

乳幼児のいる家庭でも共働きが半数を超えました。働き方も価値観も変化しつつある時代に、「共働き家庭を対象とした出産準備・育児教室に追加したい内容」をまとめました。特別企画として、産後の生活の計画をつくる「アフターバースプラン」も紹介しています。



2022年4号(7-8月号)

特集 切れ目ない支援を実現する 産前・産後の訪問看護

妊娠中から産後まで切れ目ない支援を実現する方法の1つとして、訪問看護が注目されています。「産前・産後の訪問看護とは何か」という基本から、どのようなケースで活用可能か、導入・連携の方法まで、この特集で産前・産後の訪問看護が分かります。

2022年 特集

3号(5-6月号) オンラインクラス・オンライン相談

2号(3-4月号) 教科書に載っていない「進まない分娩」の対応

1号(1-2月号) COVID-19 流行下の助産ケア

2021年 特集

12月号 組織で育む助産実践能力 国立成育医療研究センターの助産師能力開発プログラム

11月号 母親と助産師の経験から授乳支援を考える

10月号 母子と家族・社会をつなぎ止める、オンラインの活用方法

9月号 全妊婦への情報提供が始まる今 NIPTについて助産師が知っておきたいこと